

編集方針

トヨタ紡織レポートの発行にあたって

トヨタ紡織は、当社グループの企業価値向上に向けた取り組みをステークホルダーのみなさまにより深くご理解いただくため、「統合報告書」を毎年発行しています。

トヨタ紡織レポート2025のポイント

目指す姿やVisionの実現に向けた道筋を、トヨタ紡織らしさとは何かという原点に立ち返りながら、より具体的に示しました。

- トヨタ紡織のはじまりとこれから
(私たちの原点、ビジネスモデル、3つの強み)
- 豊田綱領から紡ぐVision
- インテリアスペースクリエイター (ISC) とは
- 2030年中期経営計画

変革していく当社の活動をご理解いただくとともに、応援、共感いただける会社になるため、ステークホルダーのみなさまの声を大切にしたいと考えています。ぜひ、率直なご意見をお寄せいただけますと幸いです。

最後に、本報告書が経営陣の関与と関係部署との連携により誠実に作成され、記載内容が正確であることを、ここに表明いたします。



経営企画本部
Chief Strategy Officer
おぎそ たくし
小木 曾 毅

報告対象の範囲

本レポートは、日本および世界各地のトヨタ紡織グループを報告対象としていますが、取り組みごとに報告範囲は異なります。

本レポートでは、以下の表記で報告対象を使い分けています。

トヨタ紡織グループ：日本、米州、中国、アジア、欧州・アフリカ地域

トヨタ紡織：トヨタ紡織(株)

日本地域：トヨタ紡織(株)、日本子会社

日本以外の地域：米州、中国、アジア、欧州・アフリカ地域

一部項目は個々に範囲を記載しています。

本レポートの対象期間

2024年4月1日から2025年3月31日まで。
一部に当該期間外の活動内容を含んでいます。

参考にしたガイドラインなど

- IFRS財団「IFRSサステナビリティ開示基準」[国際統合報告フレームワーク]
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」
- 内閣府「知財・無形資産ガバナンスガイドライン」
- GRIスタンダード
- ISO26000
- 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)
- 自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD)
- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」

予測情報に関する注記事項

本レポートには、トヨタ紡織グループの将来の計画や戦略、業績に関する予想、見通しが含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、経済動向、自動車業界における激しい競争、市場需要、税制、法律、制度変更、天災などのリスクや不確実性を含んでいます。したがって実際の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。

業績に関する数字の表記について

本レポートに記載している業績に関する数字は、表示未満の位を切り捨てています。

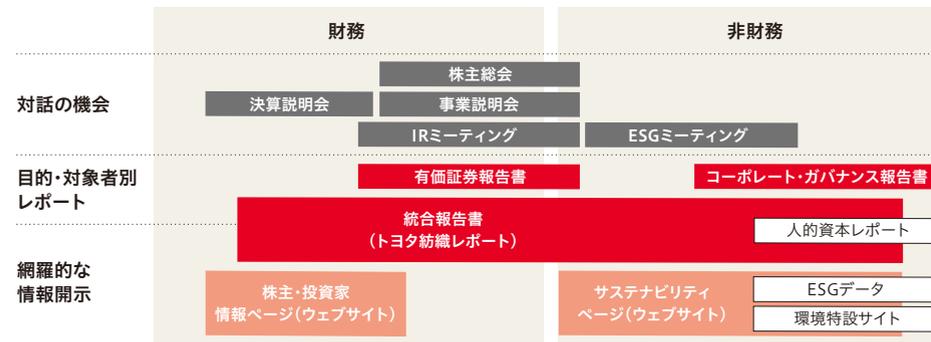
表紙について



当社の源流事業である繊維からの事業の広がりや、モビリティの今後の可能性を表現した企業広告動画のメインビジュアルを表紙にしました。車室内で過ごす時間と空間を価値のあるものにし、すべてのモビリティへ“上質な時空間”を提供していく、という当社の思いを表現しています。

(ご参考) 企業広告動画
<https://www.youtube.com/watch?v=UxlyMolys6E>

トヨタ紡織の情報開示体系



各種資料には下記からアクセスできます。

決算説明会資料、事業説明会資料、有価証券報告書、コーポレート・ガバナンス報告書、人的資本レポート
<https://www.toyota-boshoku.com/jp/company/library/>

株主・投資家情報ページ

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/ir/>

サステナビリティページ

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/sustainability/>

● 編集方針

トヨタ紡織のはじまりとこれから

価値創造ストーリー

目指す姿の具体化

戦略

2030年インテリアスペースクリエイターを目指して

社会課題の解決に貢献する

中期経営計画を遂行する

財務・非財務を戦略的に管理する

資本

イノベーションを生み出す強み

環境・社会

持続的な価値創造の基盤

ガバナンス

強靱なグローバル経営基盤の確立

補足資料・データ